

マタイ 52

どこに希望を 置くべきか

マタイ福音書21:1~17

エルサレム入城・宮きよめ

Shikaoichurch.com

キリスト教界の現実とは？

- …世の価値観が福音派まで侵食
- …既存の制度的教会は、衰退の一途
- …「福音派」に対するデマの拡散
- …偽教師の乱立。深刻な混迷、混沌

どこに希望を置くべきか？

どこに希望を置くべきか？

①人々は熱狂したが…

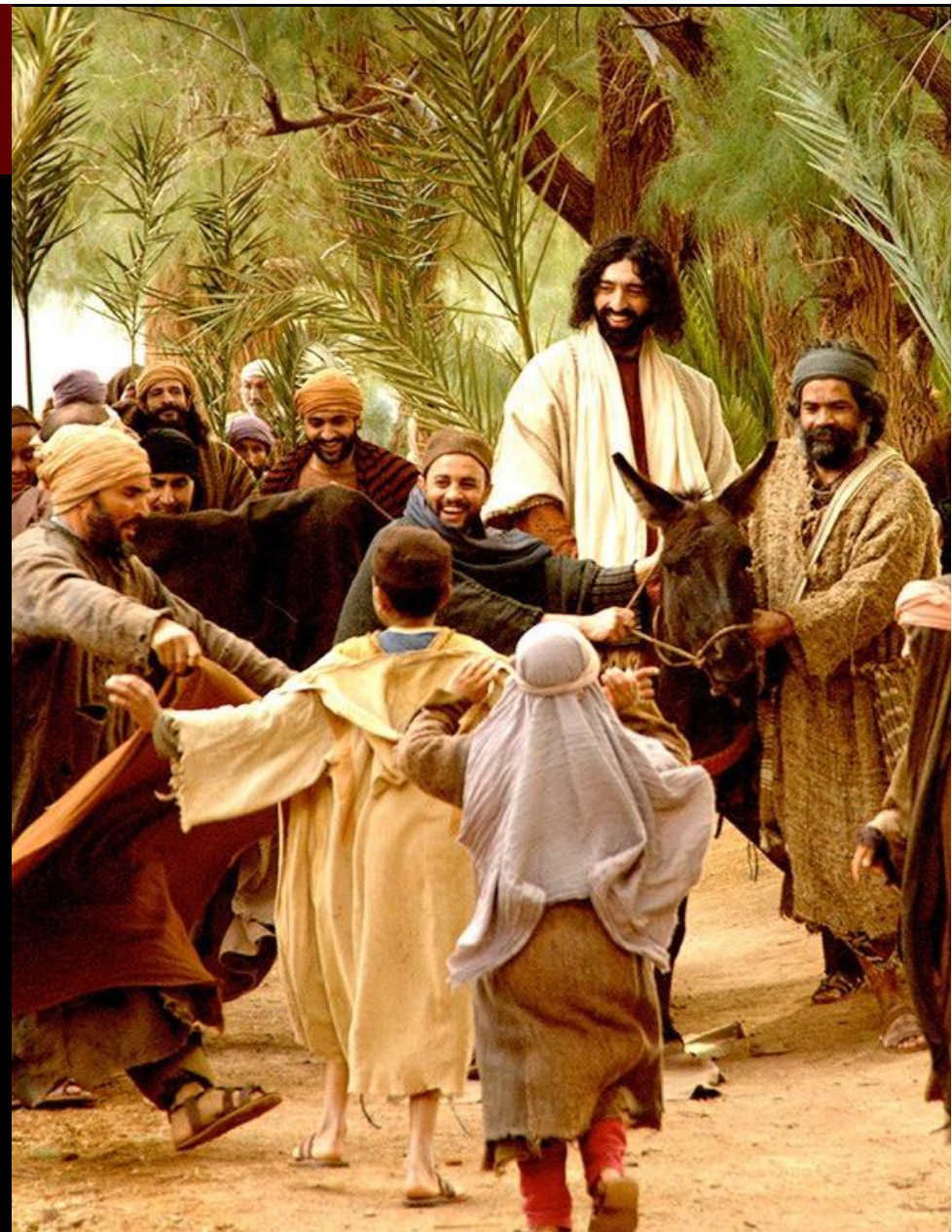
21:1~11

②現実は一厳しく、

21:12~14

③メシアは拒絶された

21:15~17



エルサレムに向かうメシア

■ 宣教の拠点だったガリラヤを離れ、エルサレムへ上るイエス。

■ 過越の祭りの巡礼者が、大勢、街道を行く中、エリコに立ち寄る。

■ 一日の距離を経て、エルサレムへ



メシアの生涯

イスラエル
(指導者)

バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始

メシア的奇跡

安息日論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐

いよいよ十字架へ



紀元70年
エルサレム陥落





①人々は熱狂したが...

マタイ21:1~11

棕櫚の主日

①熱狂の中 ベテパゲで マタイ21:1

さて、一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山のふもとの**ベテパゲ***まで来たそのとき、イエスはこう言って、二人の弟子を遣わされた。

*オリーブ山の東にある村

■エルサレムの都は目と鼻の先。



①熱狂の中

子ロバ マタイ21:2～3

「向こうの村へ行きなさい。そうすればすぐに、ろばが繋ががれていて、一緒に子ろば*がいるのに気がつくでしょう。それをほどこいて、わたしのところに連れて来なさい。

もしだれかが何か言ったら、『主がお入り用なのです*』と言いなさい。すぐに渡してくれます。」

*人を乗せたことがない、成獣手前のろば。

*超自然的な手配。

これもメシアの正統性を示す奇跡の一つ。



ろば・イスラエル

①熱狂の中

預言の成就 マタイ21:4

このことが起こったのは、預言者を通して語られたことが成就するためであった。

■ 重要なのは、奇跡よりも主の預言。

神のことばの確かさの証明としての奇跡。



①熱狂の中

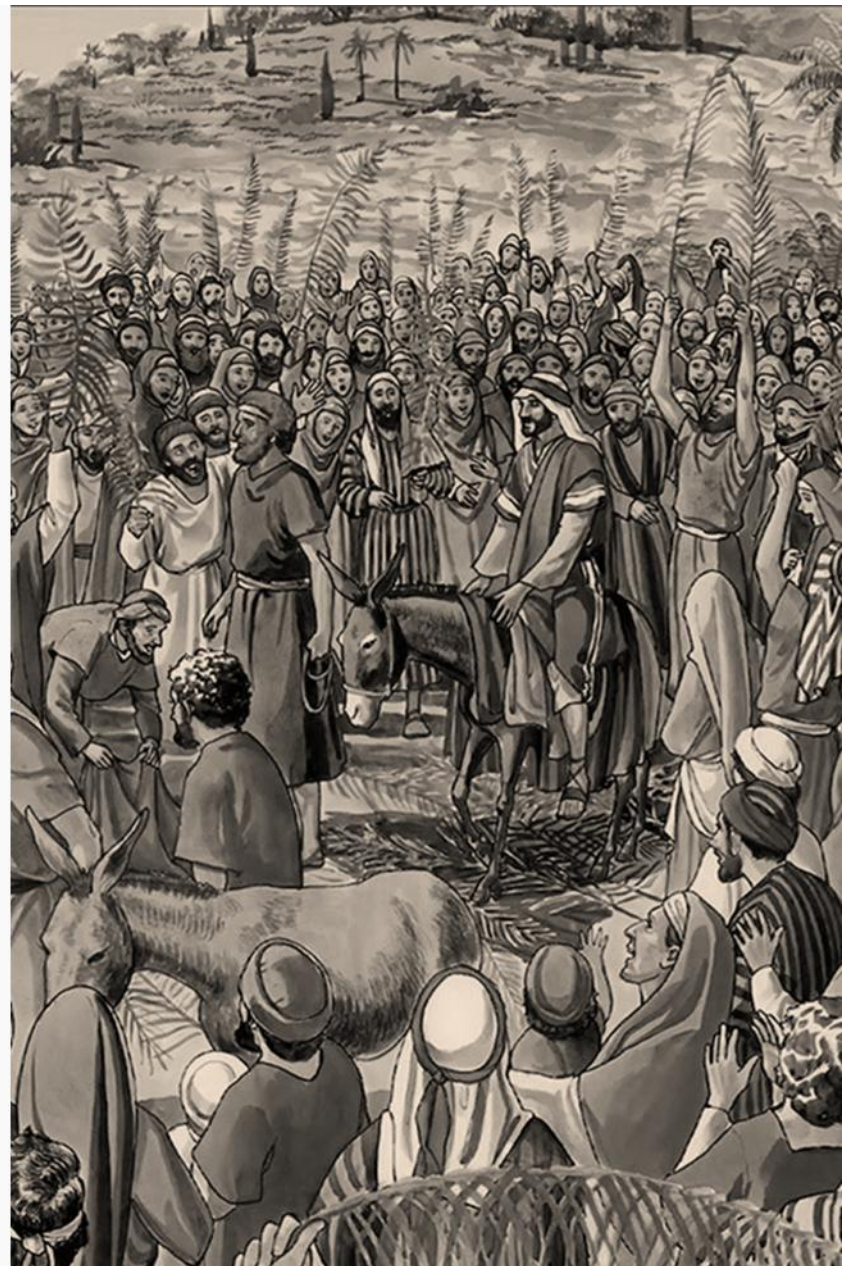
王の来臨 マタイ21:5

「娘シオンに言え。『見よ、あなたの王があなたのところに来る。柔和な方で、ろばに乗って。荷ろばの子である、子ろばに乗って*。』」

*ゼカリヤ書9:9からの引用(まとめ)

■ゼカリヤ書のメシア預言が成就。

➔メシアは、平和の王としてろばに乗って来られる。



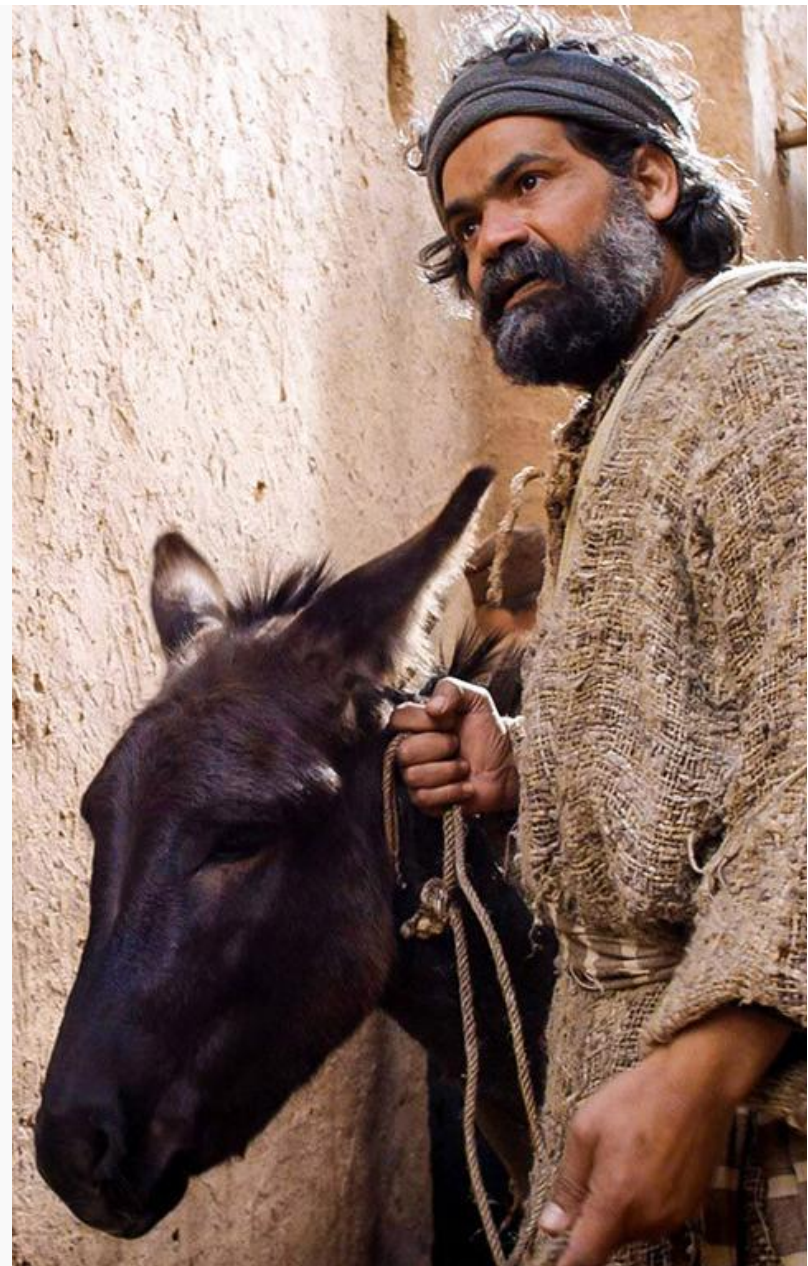
①メシア

命令通りに マタイ21:6~7

そこで弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにし、ろばと子ろば*を連れて来て、自分たちの上着をその上に掛けた。そこでイエスはその上に座られた。

*命令は、子ろばを連れて来なさい。

➡親ろばを連れてきたのは弟子の判断



①メシア

群衆 21:8

すると非常に多くの群衆が、自分たちの上着を道に敷いた*。また、木の枝を切って道に敷く者たちもいた。

*王を迎える最上の儀礼。

なつめ椰子の葉をふる者も

(ヨハネ12:13)

■王としてメシアを迎える群衆。しかし、仮庵祭(再臨)の前に、過越祭(受難)が待っている。



誰も理解していない
メシアの受難

①メシア

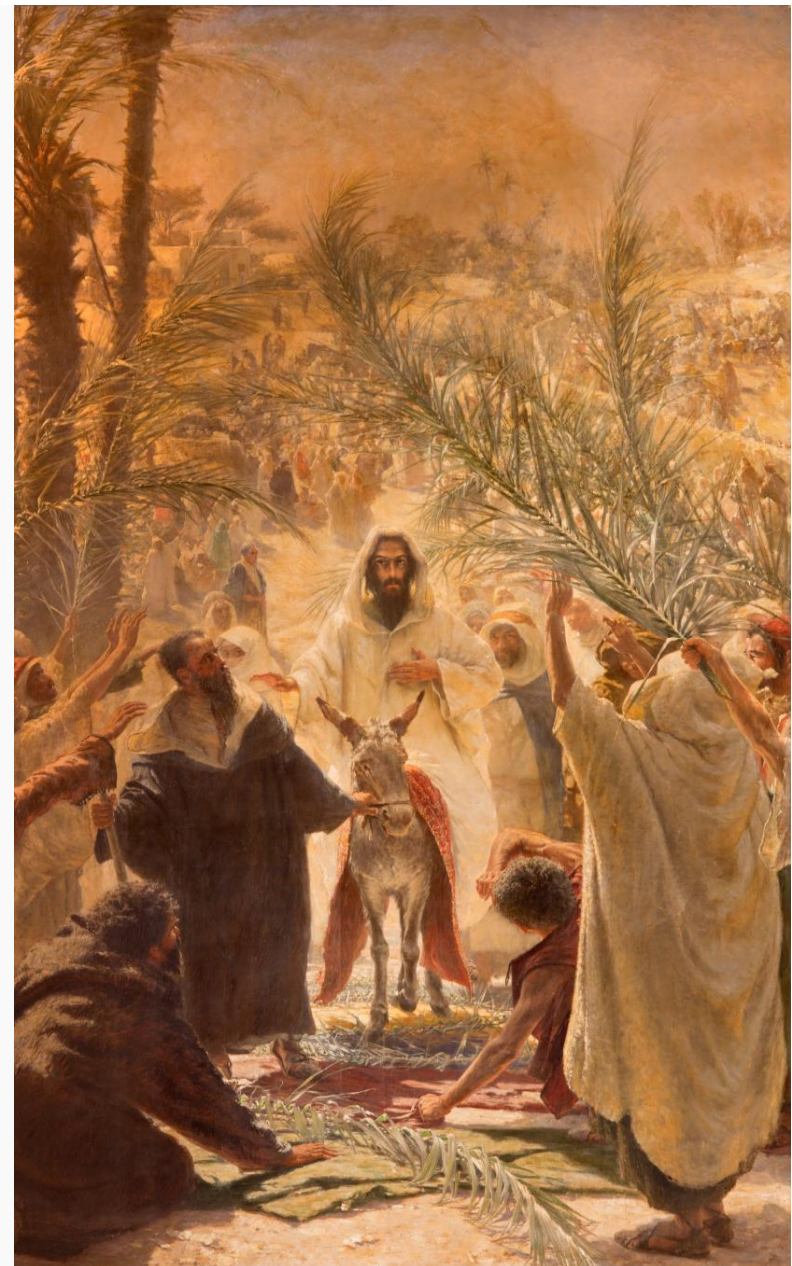
ホサナ マタイ21:9

群衆は、イエスの前を行く者たちも後に続く者たちも、こう言って叫んだ。「ホサナ*、ダビデの子に。祝福あれ、主の御名によって来られる方に。ホサナ、いと高き所に。」

*“お救いください”…ヘブル語

*詩編118:25～26…千年王国・王の即位

■ イエスは、人々を黙らせようとする
パリサイ人たちを黙らせ(ルカ19:40)、
エルサレムの裁きに涙した(ルカ19:42)。



①メシア

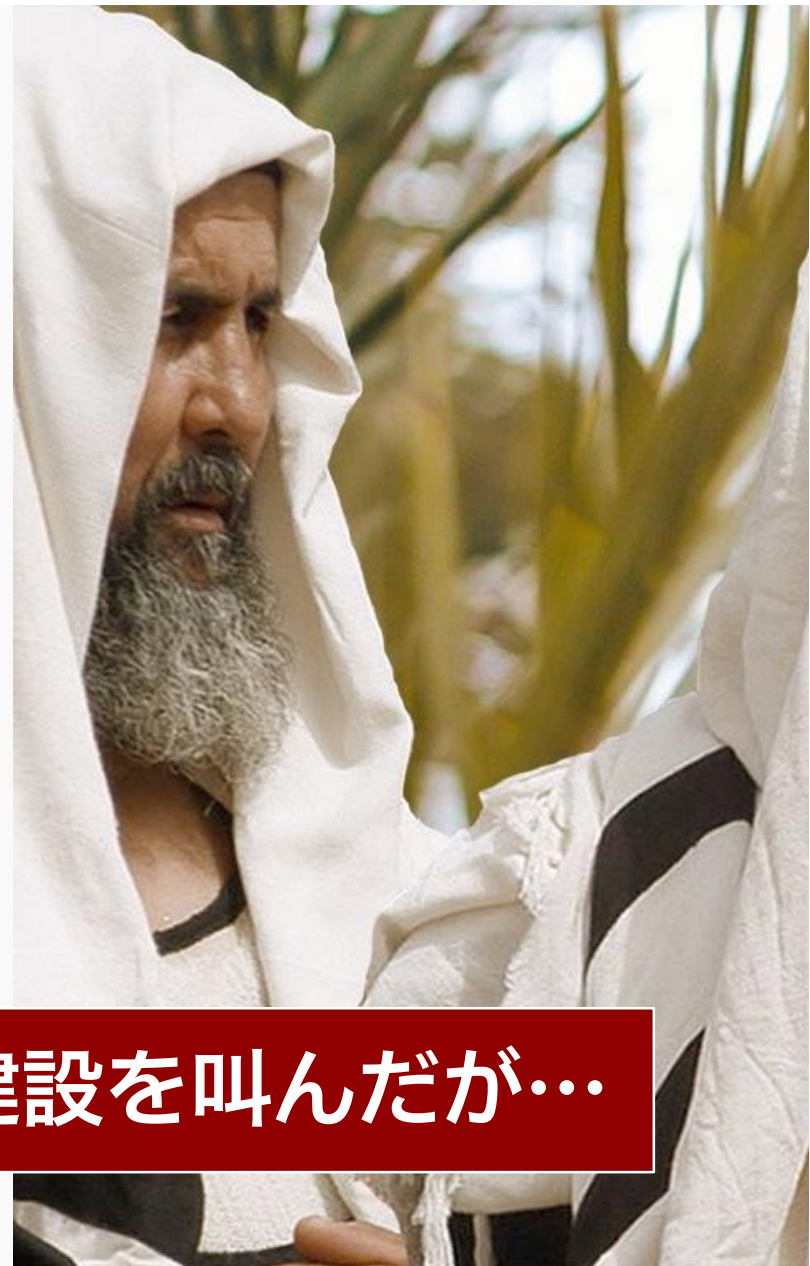
都の騒ぎ マタイ21:10～11

こうしてイエスがエルサレムに入られると、都中が大騒ぎになり、「この人はだれなのか」と言った。

群衆は「この人はガリラヤのナザレから出た預言者イエスだ」と言っていた。

■ 人々がメシアとして迎え入れたのは何者？

民は、メシアの来臨・神の国の建設を叫んだが…





②現実は厳しく 21:12~17

「宮きよめ」byティソ

①メシア

宮きよめ マタイ21:12

それから、イエスは宮に入って、その中で売り買いしている者たちをみな追い出し、両替人の台や、鳩を売る者たちの腰掛けを倒された。

- 独占した両替商は高額な両替料を徴収。
犠牲の動物を売る者は循環商法で大もうけ。
- 大祭司一族が、神殿ビジネスの利権を支配。
- メシアを迎え入れられる神殿ではなかった。

メシアご自身が、神殿をきよめられた!!



①メシア メシアの権威 21:13~14

そして彼らに言われた。「『わたしの家は祈りの家と呼ばれる』と書いてある。それなのに、おまえたちはそれを『強盗の巣*』にしている。」

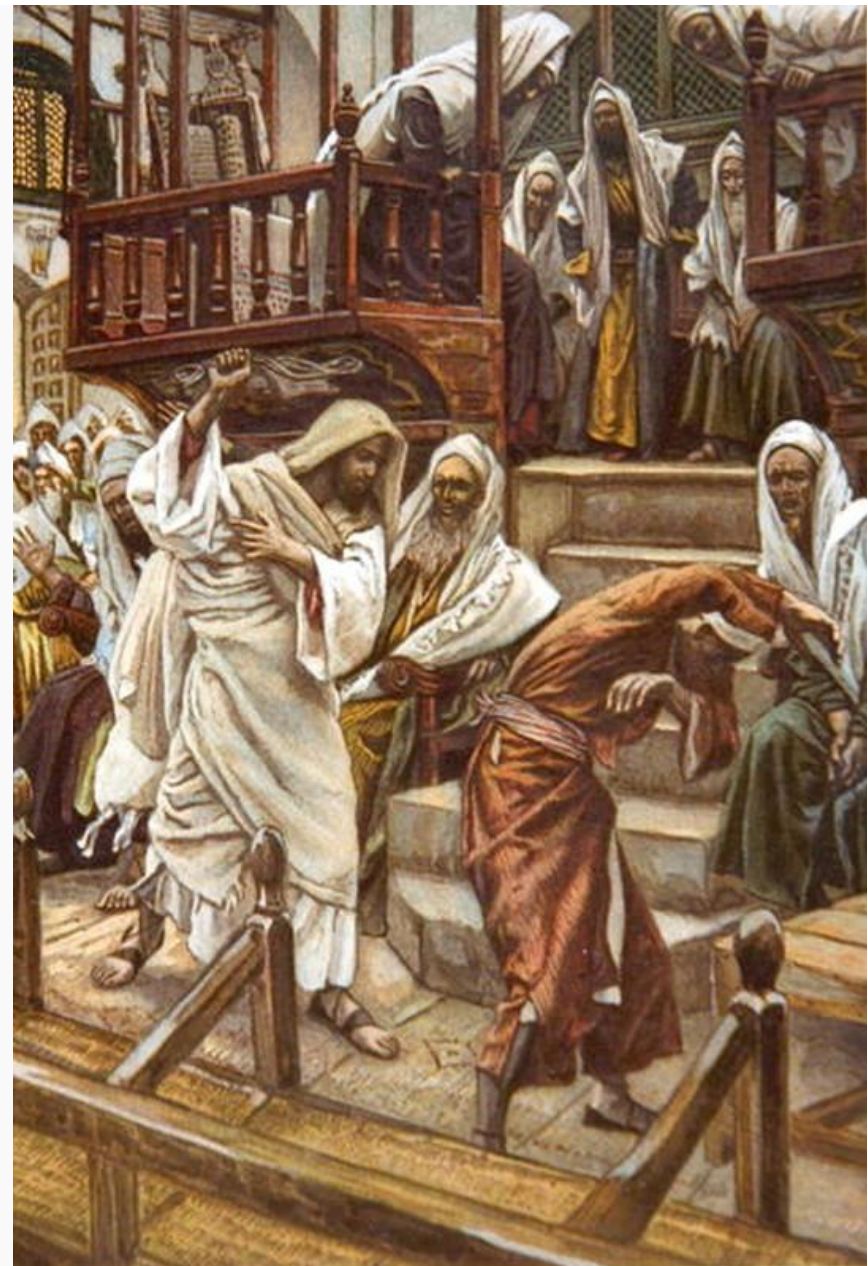
また、宮の中で、目の見えない人たちや足の不自由な人たちがみもとに来た*ので、イエスは彼らを癒やされた。

*エレミヤ7:11…この時代も破滅が迫る

*けがれた宮では解決されない苦しみ

■宮きよめも、癒やしも、

神の権威による、メシアの御業。





③メシアは拒絶された

マタイ21:15~17

第二神殿・復元模型

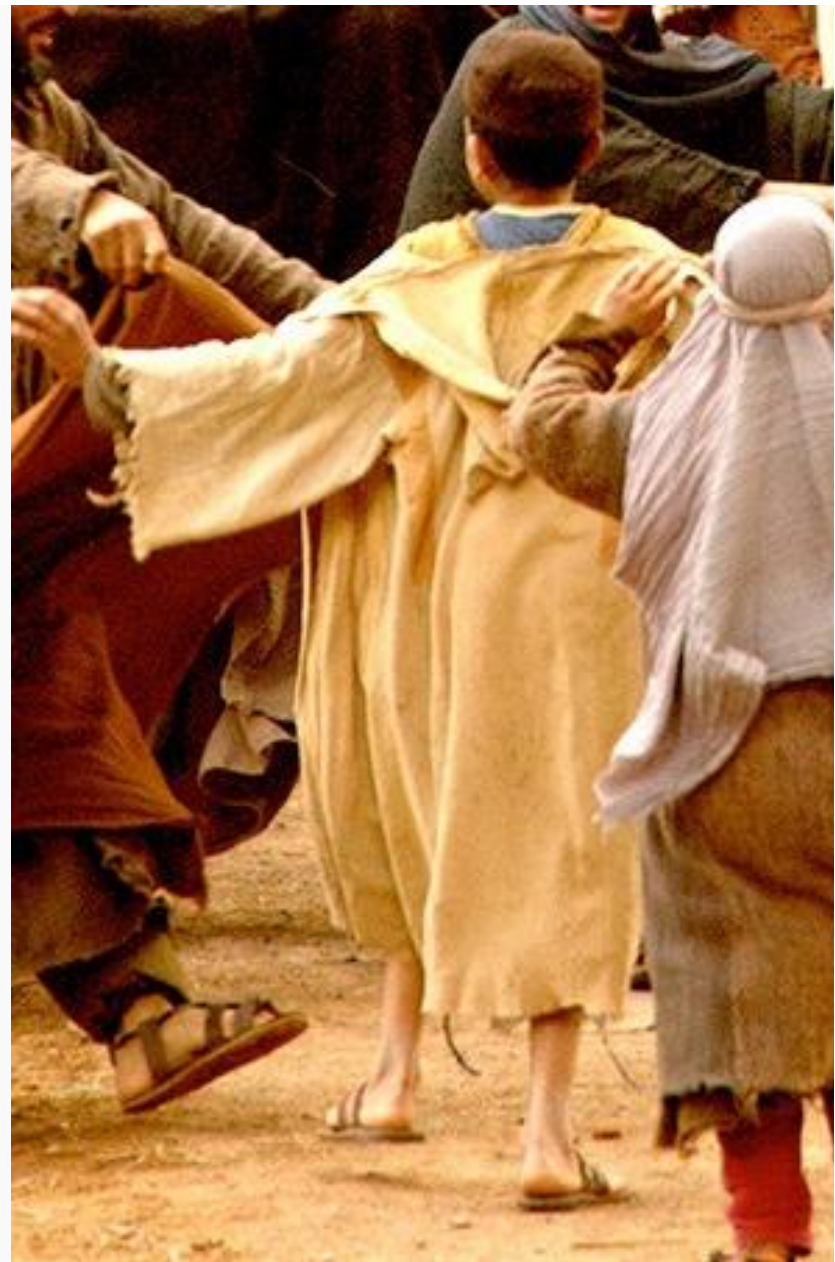
①メシア

立腹する者 マタイ21:15

ところが祭司長たちや律法学者たちは、イエスがなされたいろいろな驚くべきことを見て、また宮の中で子どもたちが「ダビデの子にホサナ」と叫んでいるのを見て腹を立て、イエスに言った。

■メシアには、神殿をきよめる権利と権威がある。神の正当性。

➔メシアを認めない者たちには、決して受け入れられないこと!!



①メシア

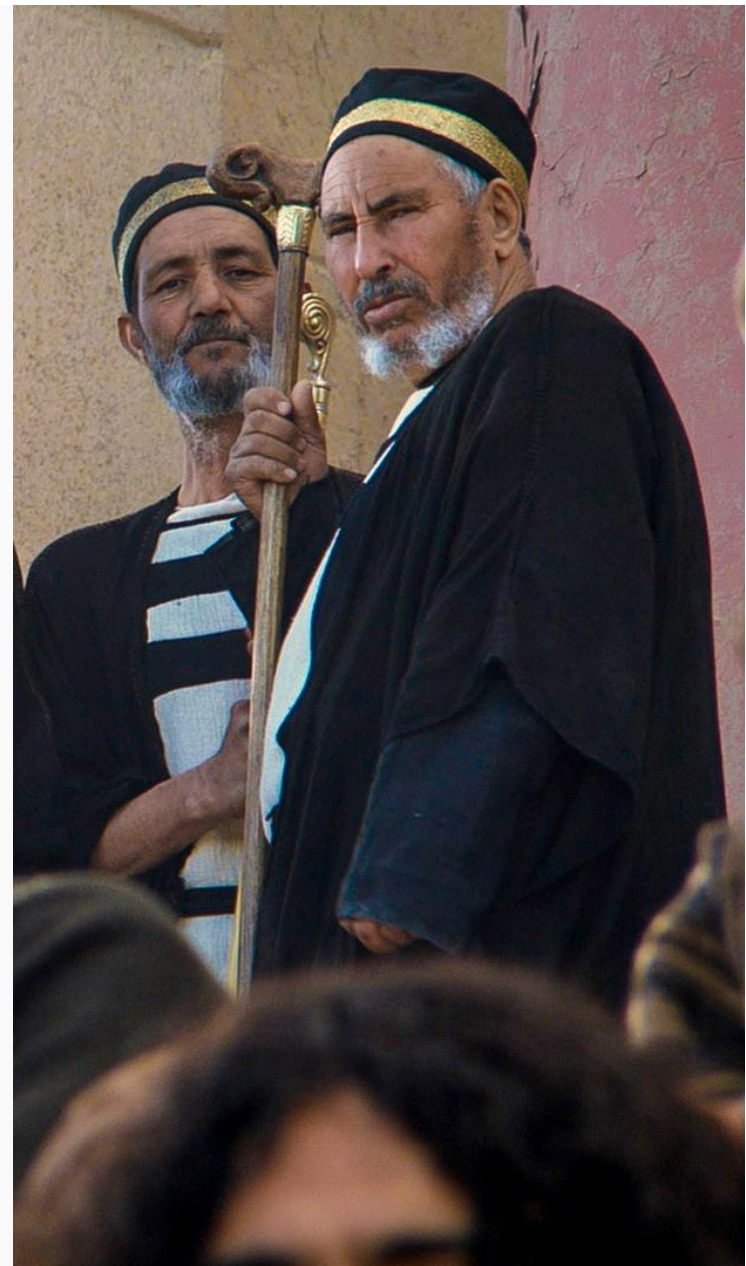
幼子の賛美 マタイ21:16

「子どもたちが何と言っているか、聞いていますか。」イエスは言われた。「聞いています。『幼子たち、乳飲み子たちの口を通して、あなたは誉れを打ち立てられました*』とあるのを、あなたがたは読んだことがないのですか。」

*幼子の叫びもメシア預言の成就(詩8:2)

➡イエスこそ、

被造世界を治める「人の子(メシア)」



①メシア

ベタニアへ マタイ21:17

イエスは彼らを後に残し、都を出てベタニア*に行き、そこに泊まられた。

*過越祭当日までの滞在地。

十字架を目前に
メシアの最後の宣教が!!





まとめと適用

どこに希望を置くべきか？

オリーブ山

①人々は熱狂したが

…人々は、ろばに乗ったメシアを王として都に迎え入れた

②現実は一蹴なく

…けがれきっていた神殿をメシアは、きよめられた

③メシアは拒絶された

…明確にメシアが示した神の権威を指導者たちは拒絶した

私たちが目をとめるべきは、メシアご自身だけ!!

人々が理解しなかったのは、メシアは二度来るということ

①初臨のメシア …ゼカリヤ書9章9節の本当の意味

→初臨のメシアは、ろばに乗り、
平和の王として、**受難**のため来られる。

②再臨のメシア

→再臨のメシアは、馬に乗り、王の王、主の主、
裁き主として来られ、**神の国を建設**される（黙示録19章）

適用

今の時代の向かう先

マタイ24:7~12

民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。

しかし、これらはすべて**産みの苦しみ**の始まりなのです。

そのとき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。

また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。

そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。

また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。

不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。

受難を経て、栄光に至ったメシアのように、今の時代も、艱難を経て、神の栄光に入る。

- ①人々は熱狂するが ……誤った聖書理解が生む熱狂がある。繁栄や自由・解放の強調。
- ②現実は一層厳しく ……教会内部から生じる腐敗と衰退
- ③メシアは拒絶される ……主イエスの十字架と復活が拒絶

主イエスを仰ぎ見、主イエスの道を歩み続けているか？

適用

永遠の命に至る、私たちの道のりとは？

①キリストの受難と栄光

神が計画されていた、主イエスの十字架の死と復活。
主イエスは、栄光に至る前に、受難を通過する必要が!!

②信仰者の試練と栄光

十字架の死と復活の福音を信じた者には、復活が約束。
栄光の体に至る前に、十字架の道・世の試練を通過!!

試練の中で仰ぎ見、待ち望むべきは、栄光のキリスト

「また私は、天が開かれているのを見た。すると見よ、白い馬がいた。それに乗っている方は「確かで真実な方」と呼ばれ、義をもってさばき、戦いをされる。黙19:11」

- 神殿をきよめられた主イエスは、世の終わり、全人類を裁き、全世界をきよめられる。
- 主イエスが建てられた神の王国に、主に信頼したすべての者は栄光の体で迎え入れられる。

「マラナタ・主よ来てください」 再臨の主を待ち望もう

適用

今の時代の先にある希望

マタイ24:9~13

そのとき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。
また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。

そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。
また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。
不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。

しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。

忍耐とは、主を仰ぎ見、主に信頼して、今を歩むこと。

★ どこに希望を置くべきか？ ★

■ 産みの苦しみの時代、世界も教会も混迷を深めて行く。受難の中で、弟子たちの信仰が守られたように、私たちの信仰が守られるように祈ろう。

■ 受難を経て、栄光に至った主イエスのように、私たちも試練を経て、最後には栄光の体に至る。

■ 世の闇が増すほど、栄光の主を仰ぎ見よう。世が混沌を深めるほど、固く真理の御言葉に立とう。

マラナタ!! 主イエスに希望を置いて待ち望もう!!

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

しゅ じゅなん へ えいこう いた
主イエスが、受難を経て、栄光に至られたように、

わたし よ しれん へ えいこう からだ いた
私たちも、世の試練を経て、栄光の体に至ります。

しゅ のぞ きょう ひ つか
マラナタ。主を待ち望みつつ、今日、この日に遣わしてください。

かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」